

2023



エコアクション21

環境経営 レポート

2023年度

(2023年4月～2024年3月)

新潟マツダ自動車株式会社

2024年11月1日 発行

2024年12月20日 改訂



認証番号0009978

目 次

はじめに	1	ページ
1. 環境経営方針	2	ページ
2. 組織の概要	3	ページ
3. 実施体制	4	ページ
4. 対象範囲	5	ページ
5. 環境経営目標	6	ページ
6. 環境経営計画	7	ページ
7. 環境経営目標と実績	8	ページ
8. 環境経営の取組結果と評価、次年度の取組内容	9	ページ
9. 次年度以降の環境経営目標	10	ページ
10. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟の有無	11	ページ
11. 代表者による全体の評価及び見直し	12	ページ

私たちが取組む〈エコアクション21〉は、環境省が作った環境マネジメントシステムです。2013年にこのシステムを導入し、環境への取組みを開始して以来、地球温暖化防止ならびに省資源のための様々な活動を通して、環境保全と循環型社会の実現に向けた地球規模の取組みに参画し、わずかながらでも貢献できるよう努めて参りました。

また、この取組みを通して、環境関連法規に関する理解と法令遵守の意識がいっそう高まり、企業の社会的責任（CSR）をいっそう強く意識することにもつながりました。

これからも末永くお客様ならびに地域の皆様からご愛顧、ご信頼をいただくためにも、私たち新潟マツダはエコアクション21に積極的に取り組んで参ります。

〈新世代店舗※〉

上越店（上越市）



堀之内店（新潟市）



有明台店（新潟市）



※ 新世代店舗とは

マツダのデザイン本部監修による、「品格あるたたずまい」「惹きつける力」「クルマを美しく魅せる」「居心地のよいしつらえ」という4つのデザインコンセプトに基づき設計された店舗です。

＜基本理念＞

新潟マツダ自動車株式会社は、自動車販売・整備などの全ての事業活動において、継続的に環境への負荷軽減に取り組み、地域と地球環境の保護と豊かな循環型社会づくりに貢献します。

＜行動指針＞

1. 地球温暖化防止に向け、二酸化炭素排出量の削減のために省エネルギーに努めます。
2. 限りある資源を守るため、廃棄物の排出量削減および分別の徹底に努めます。
3. 環境への負荷軽減のため、水の使用量の削減に努めます。
4. 環境への影響を最小限にするため、化学物質の適正管理と使用量・排出量把握に努めます。
5. 環境に配慮した商品およびサービスの提供を推進します。
6. 事業活動に適用される環境関連法規を遵守します。

上記1～5については、環境経営目標を定め、環境経営の継続的改善に取り組みます。

また、全従業員に当方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成・公表します。

制定 2013年 7月 1日
改訂 2021年10月28日

新潟マツダ自動車株式会社
代表取締役社長 横田 和彦

2. 組織の概要

3

1. 事業者名及び代表者

新潟マツダ自動車 株式会社
代表取締役社長 横田 和彦

2. 本社所在地

新潟市東区山木戸8丁目4番15号

3. 事業内容

マツダブランドの新車販売
中古自動車販売
自動車部品・用品の販売
自動車整備
損害保険代理店

4. 事業の規模

拠点数	(2024年3月31日現在)	
	新車販売店舗	9 拠点
	新車・中古車販売店舗	7 拠点
	中古車販売店舗	2 拠点
	板金塗装・架装工場	3 拠点
	本社・車両課	2 拠点
	計	23 拠点
	うち1拠点は活動対象外	
従業員数	(2024年3月31日現在 契約・パート含む) 289 人	
年間売上高	(2024年3月期)	112 億円
年間新車販売台数	(同上)	2,387 台
年間中古車販売台数	(同上)	2,781 台
年間整備入庫台数	(同上)	65,449 台

5. 環境管理責任者及び担当者

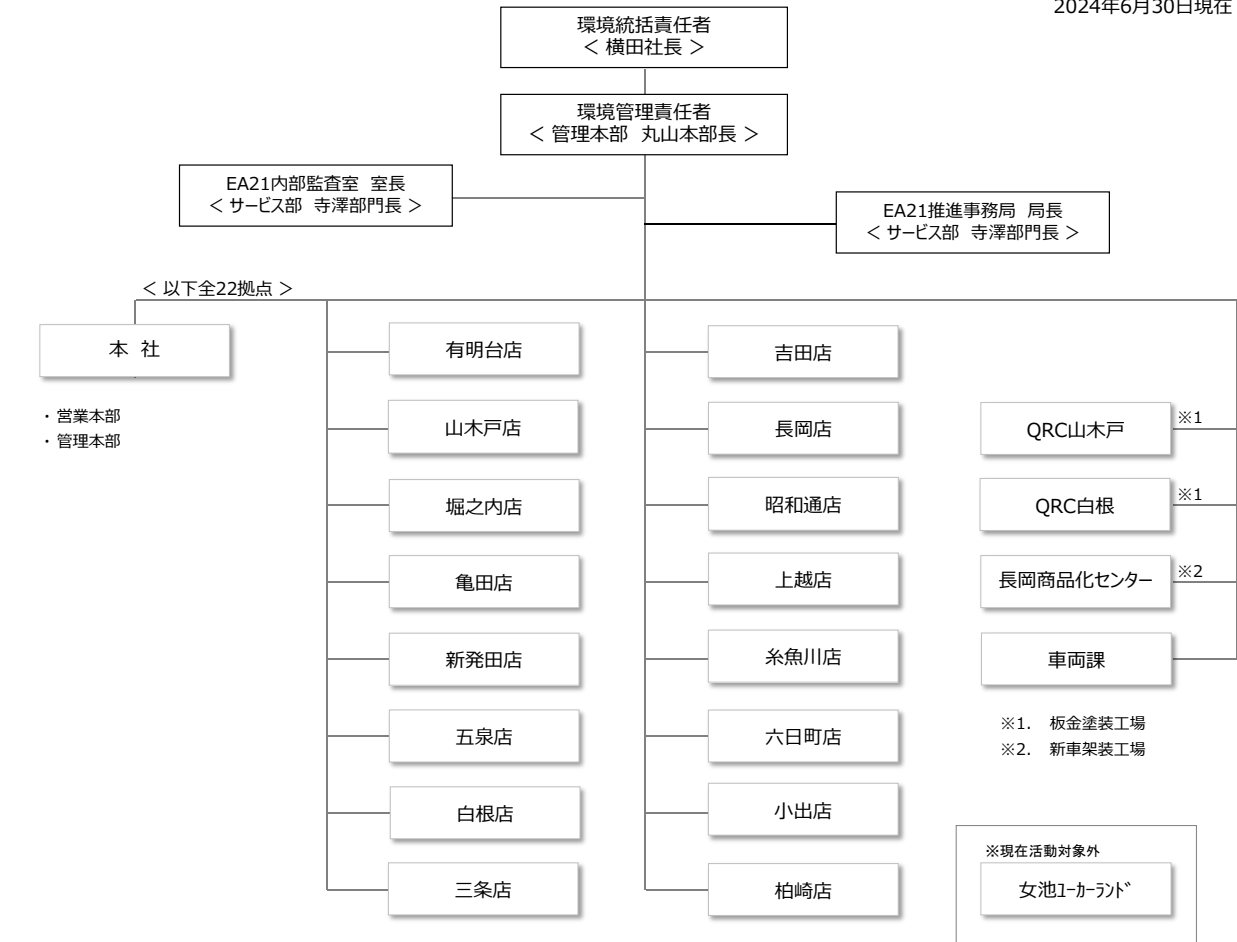
環境管理責任者	管理本部長 丸山 邦広
EA21環境推進事務局 事務局長	営業本部 サービス部課長 寺澤 吉美
事務局員	営業本部 サービス部係長 小田 幸男
事務局員	管理本部 総務・経理部 村山 英俊

TEL : 025-271-8111
FAX : 025-271-4218

3. 実施体制

4

2024年6月30日現在



＜役割/責任＞

環境統括責任者 ＜社長＞	環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任者 ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 実施体制の構築・見直し指示 ・ EMSの実施及び管理に必要な資源の準備 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 内部監査員の任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し ・ 環境経営目標の承認・見直し指示 ・ 環境経営計画の承認・見直し指示 ・ 環境経営レポートの承認 ・ 全体の評価と見直し
環境管理責任者	実務上の責任者として、全社の環境経営取組を推進 ※代表者は環境経営の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲 ・ EMSの構築、実施、管理 ・ 環境経営方針・実施体制・環境経営目標・環境経営計画の全従業員への周知 ・ 環境経営目標・環境経営計画の策定 ・ 教育・訓練の指示 ・ 環境上の緊急事態の準備・対応の指示 ・ 環境経営計画・環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・ 環境経営の取組結果の代表者への報告 ・ 環境経営レポートの確認 ・ 是正・予防処置の指示
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、全社の環境への取組を推進 ・ 拠点の環境経営取組の指導・支援 ・ 環境経営目標・環境経営計画原案の作成 ・ 教育・訓練の計画、実施、結果報告 ・ 環境上の緊急事態の準備及び対応の計画、実施、結果報告 ・ 環境データの集計・取りまとめ ・ 環境関連法規の取りまとめ・遵守状況のチェック ・ 環境経営レポートの作成 ・ 是正・予防処置の指示、実施、結果報告
EA21内部監査室	環境経営システム全体の状況の内部監査 ・ 環境経営システムがガイドラインの要求事項及び組織が定めたルールに適合しているかの確認・評価 ・ 環境経営目標の達成、環境経営計画の適切な実施及び環境パフォーマンスの向上の確認・評価 ・ 上記評価結果の代表者及び環境管理責任者への報告
各部門 ＜部門長＞	担当部門の環境経営取組の推進 担当部門の環境経営取組の責任者 ・ 環境経営方針・実施体制・環境経営目標・環境経営計画書の各部門への周知 ・ 教育・訓練、環境上の緊急事態の準備及び対応、是正・予防処置の実施、結果報告
拠点、ユーザーランド、 板金塗装・架装工場他 ＜店長/サービスMgr＞	店長:店舗の環境経営取組全体の責任者として、店舗環境経営取組の推進・管理 ・ 環境経営方針・実施体制・環境経営目標・環境経営計画書の店舗従業員への周知 ・ 教育・訓練、環境上の緊急事態の準備及び対応、是正・予防処置の実施、結果報告 サービスMgr:サービス領域の環境経営取組に責任を持つとともに店舗全体の環境経営取組において店長をサポート
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性の自覚 ・ 決められたことの遵守、自主的・積極的な環境経営への参加

4. 対象範囲



■事業所一覧

全組織・全活動を対象とします

2024年3月31日現在

No.	店舗名	主な事業内容	従業員数 (人)	所在地	電話番号
1	本社		27	新潟市東区山木戸8丁目4番15号	025-271-8111
2	山木戸店	新車・整備	18	新潟市東区山木戸8丁目4番15号	025-274-4311
3	Q R C 山木戸	板金・塗装	5	新潟市東区山木戸8丁目4番15号	025-274-5252
4	山木戸ユーカーランド	中古車	2	新潟市東区山木戸8丁目3番15号	025-273-3900
5	有明台店	新車・整備	18	新潟市中央区掘割町3番10号	025-266-0136
6	堀之内店	新車・中古車・整備	18	新潟市中央区堀之内南1丁目16番48号	025-241-6601
7	亀田店	新車・中古車・整備	16	新潟市江南区東早通3丁目1番7号	025-383-5410
8	新発田店	新車・中古車・整備	20	新発田市新栄町2丁目4番22号	0254-27-2283
9	五泉店	新車・整備	13	五泉市三本木3丁目2番10号	0250-42-3997
10	白根店	新車・中古車・整備	19	新潟市南区鷺ノ木新田5699番地1	025-377-4101
11	三条店	新車・中古車・整備	18	三条市下須頃260番地1	0256-34-3173
12	吉田店	新車・整備	7	燕市吉田3512番地1	0256-92-7881
13	Q R C 白根	板金・塗装	9	新潟市南区鷺ノ木新田5699番地1	025-377-4127
14	車両課	車両回送他	6	新潟市南区鷺ノ木新田5699番地1	025-377-4226
15	長岡店	新車・中古車・整備	20	長岡市平島1丁目165番地	0258-22-2222
16	昭和通店	新車・整備	12	長岡市西神田町2丁目6番地	0258-36-5335
17	上越店	新車・中古車・整備	22	上越市土橋783番地5	025-523-3185
18	糸魚川店	新車・整備	4	糸魚川市横町5丁目12番66号	025-552-3151
19	六日町店	新車・整備	9	南魚沼市六日町989番地1	025-772-3251
20	小出店	新車・整備	5	魚沼市板木1529番地1	025-792-0520
21	柏崎店	新車・整備	9	柏崎市北半田1丁目7番14号	0257-24-1062
22	長岡商品化センター	新車架装他	5	長岡市片田町965	0258-88-8111

< 合計 22拠点 282 人 >

以下は2023年7月営業開始のため対象外

23	女池ユーカーランド	中古車・整備	7	新潟市女池2丁目2番18号	025-284-0085
----	-----------	--------	---	---------------	--------------

5. 環境経営目標

6

■ 環境目標（年間）

	環境経営方針	目標項目	基準値		削減の場合 増加の場合	環境経営目標（基準値比）		
			基準年度	単位		99%	98%	97%
			2020年度		目標区分	101%	102%	103%
二酸化炭素	CO ₂ 排出量の削減	電力由来	※1 ※2 649,268	kg-CO ₂	Down	642,775	636,283	629,790
		ガソリン由来	414,906	kg-CO ₂	Down	410,757	406,607	402,458
		軽油由来	232,049	kg-CO ₂	Down	229,729	227,408	225,088
		灯油由来	104,037	kg-CO ₂	Down	102,997	101,956	100,916
		都市ガス由来	498	kg-CO ₂	Down	493	488	483
		LPガス由来	15,927	kg-CO ₂	Down	15,768	15,609	15,449
		計	1,416,685	kg-CO ₂	Down	1,402,518	1,388,351	1,374,184
	【参考】 CO ₂ 排出源となるエネルギーの使用量	電力使用量	1,242,088	kWh	Down	1,229,667	1,217,246	1,204,825
		ガソリン使用量	178,711	ℓ	Down	176,924	175,137	173,349
		軽油使用量	88,422	ℓ	Down	87,538	86,654	85,769
		灯油使用量	41,750	ℓ	Down	41,332	40,915	40,497
		都市ガス使用量	236	m ³	Down	234	231	229
		LPガス使用量	2,563	m ³	Down	2,537	2,512	2,486
廃棄物	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	29,203	kg	Down	28,911	28,619	28,327
		産業廃棄物	104,711	kg	Down	103,664	102,616	101,569
水	水使用量の削減	水道水	9,638	m ³	Down	9,542	9,445	9,349
化学物質	適正管理と取扱量の現状維持	トルエン、キシレン	1,705	kg	Keep	1,705	1,705	1,705
商品	環境に配慮した商品の販売拡大	エコカーの販売台数	1,749	台	Up	1,766	1,784	1,801
		メンテナンスパック商品の販売件数	7,316	件	Up	7,389	7,462	7,535

※1. 購入電力のCO₂排出係数(調整後排出係数)・・・2021年度からの新3か年計画策定にあたり採用したもの
東北電力(株)：0.521 (株)エネワンでんき：0.528 (株)新出光：0.523 ENEOS Power(株)：0.472 (単位：kg-CO₂/kWh)

※2. 購入電力のCO₂排出係数(調整後排出係数)・・・2020年度実績算出にあたり採用した排出係数
東北電力(株)：0.547 (株)エネワンでんき：0.494 (株)新出光：0.459 (単位：kg-CO₂/kWh)

6. 環境経営計画



1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電力使用量の削減

- ① 屋外照明の点灯時刻の設定の確認と実施
- ② 無人時の屋内照明の消灯および昼休みの工場・事務所消灯
- ③ 自動販売機業者への省エネ協力依頼
- ④ エアコンの温度設定の確認
- ⑤ 工場のエアコンプレッサーの退社時電源OFFの徹底
- ⑥ 長時間の離席時や未使用時パソコンのスリープの徹底
- ⑦ クールビズの期間延長（5月～10月）
- ⑧ 定時退社日の設定と厳守
- ⑨ LED照明への段階的な切り替え
- ⑩ サーキュレーター、扇風機の設置数の増加

(2) ガソリン・軽油使用量の削減

- ① エコドライブの啓発・実践
- ② 社用車、営業スタッフ自家用のアイドリングストップの徹底
- ③ 社用車、営業スタッフ自家用のタイヤの空気圧・不要な荷物チェック

(3) ガス・灯油使用量の削減

- ① ガスまたは灯油を使用する塗装工場乾燥ブースの効率的な使用
- ② ガスを使用する給湯器の水温設定を初めとした適正使用
- ③ 灯油を使用する暖房機の室温設定を初めとした適正使用

2. 廃棄物排出量の削減

- ① 紙使用量の削減（タブレット、プロジェクター利用促進による紙資料の削減など）
- ② 産業廃棄物の分別の徹底とリサイクル化、排出量の把握と削減意識の向上
- ③ 一般廃棄物の分別の徹底とリサイクル化、排出量の把握と削減意識の向上

3. 水使用量の削減

- ① 節水意識の向上
- ② 洗車時の使用水量の削減（ストップノズルの装着）
- ③ 洗車時の使用水量の削減（洗剤使用量の抑制）

4. 化学物質の適正管理（数値目標非関連項目）

- ① 塗料・シンナーの使用量の削減を意識した塗装作業の実施
- ② 塗料・シンナーの保管場所の整理整頓
- ③ 塗料の適正な発注と厳格な在庫管理
- ④ 塗料使用量の削減
- ⑤ 環境対応の塗料の採用

5. 環境配慮製品およびサービスの販売拡大

- ① マツダ社製のエコカー（SKYACTIV搭載の新車）の販売促進
- ② メンテナンスパック商品 <バックdeメンテ> の販売促進
- ③ エコ商品（オイル、タイヤ等）の販売促進

6. その他（数値目標非関連項目）

- ① 使用済み自動車の適正処理
- ② 油水分離槽の適正管理

7. 環境経営目標と実績

8

2023年度（2023年4月～2024年3月）の目標と実績は以下のとおりです。

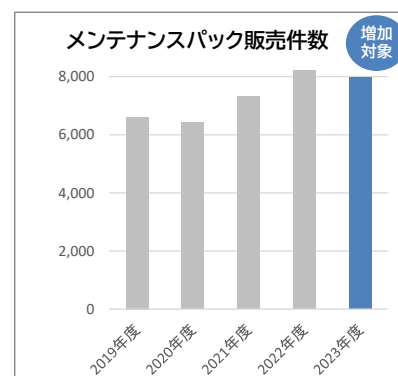
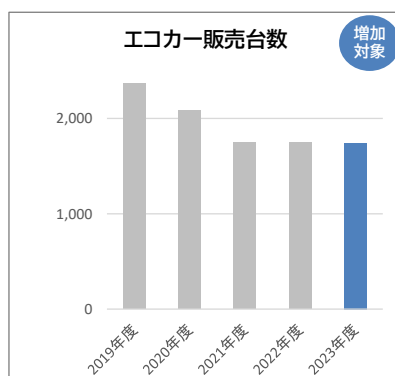
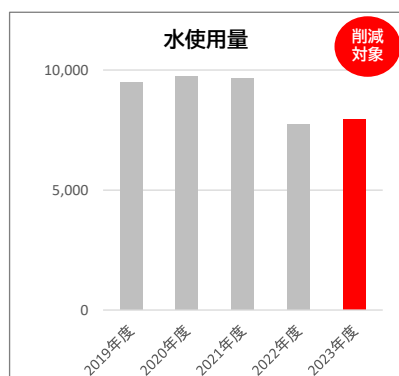
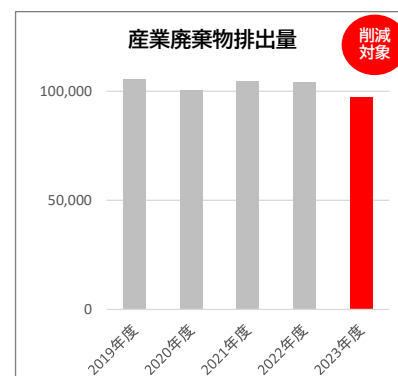
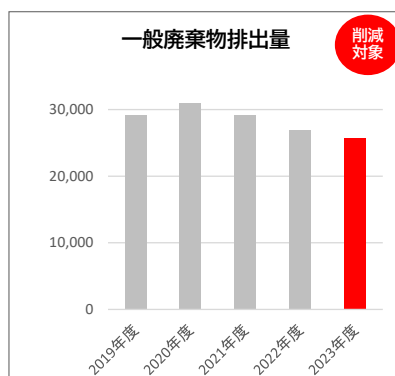
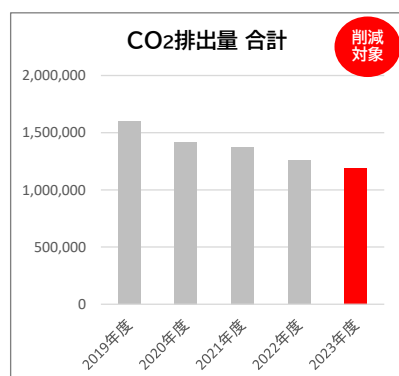
100以上の場合、達成を示します。また数値が大きいほど達成度が高いことを示します。

■全社

			a	b	c = a × b	d	d / a		
			基準年度実績 (2020年度)	当期目標率	当期目標値	当期実績	基準年比	目標達成度 (※2)	評価 達成度が100 以上の場合○
		単位							
CO ₂ 排出量	電力	kg-CO ₂	649,268	97 %	629,790	542,355	84 %	116	○
	ガソリン	kg-CO ₂	414,906	97 %	402,458	349,923	84 %	115	○
	軽油	kg-CO ₂	232,049	97 %	225,088	216,598	93 %	104	○
	灯油	kg-CO ₂	104,037	97 %	100,916	72,414	70 %	139	○
	都市ガス	kg-CO ₂	498	97 %	483	318	64 %	152	○
	LPガス	kg-CO ₂	15,927	97 %	15,449	11,664	73 %	132	○
	合計	kg-CO ₂	1,416,685	97 %	1,374,184	1,193,273	84 %	115	○
廃棄物の削減	一般廃棄物	kg	29,203	97 %	28,327	25,739	88 %	110	○
	産業廃棄物	kg	104,711	97 %	101,569	97,379	93 %	104	○
水使用量	上水	m ³	9,638	97 %	9,349	7,955	83 %	118	○
化学物質排出量（推定値）			kg		1,705	1,201	70 %		-
環境製品販売量	エコカー販売台数	台	1,749	103 %	1,801	1,742	100 %	97	×
	メンテナンス商品販売件数	件	7,316	103 %	7,535	7,977	109 %	106	○

※目標達成度の算出方法：削減対象項目の達成率 = 今期目標値 / 今期実績値
増加対象項目の達成率 = 今期実績値 / 今期目標値

■当期を含む直近5年間の項目別実績



8. 環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

■取組結果の評価

項目	主な取組み	結果と評価	次年度の取組
電力使用量の削減	① 屋外照明の点灯時刻の設定の確認と実施	全社で徹底し成果を出している	蛍光灯の生産終了・縮小傾向を受け全社LED化達成
	② 無人時の屋内照明の消灯および昼休みの工場・事務所消灯		
	③ 自動販売機業者への省エネ協力依頼		
	④ エアコンの温度設定の確認		
	⑤ 工場のエアコンプレッサーの退社時電源OFFの徹底		
	⑥ 長時間の離席時や未使用時パソコンのスリープの徹底		
	⑦ クールビズの期間延長（5月～10月）		
	⑧ 定時退社日の設定と厳守		
	⑨ LED照明への段階的な切り替え		
	⑩ サーキュレーター、扇風機の設置数の増加		
ガソリン・軽油使用量の削減	① エコドライブの啓発・実践	新型SUVのディーゼル車の販売量増加により軽油消費量を抑えられなかった	・本部業務用車両の使用申請要領の見直し ・納車時及び代車貸出時の給油ルールの統一化
	② 社用車、営業スタッフ自家用のアイドリングストップの徹底		
	③ 社用車、営業スタッフ自家用のタイヤの空気圧・不要な荷物チェック		
ガス・灯油使用量の削減	① ガスまたは灯油を使用する塗装工場乾燥ブースの効率的な使用	全社で徹底し成果を出している	全社の給湯器付近への温度設定に関する掲示
	② ガスを使用する給湯器の水温設定を初めとした適正使用		
	③ 灯油を使用する暖房機の室温設定を初めとした適正使用		
廃棄物排出量の削減	① 紙使用量の削減（タブレット、プロジェクター利用促進による紙資料の削減など）	全社で徹底している	コピー用紙の拠点ごとの年間購入量を把握及び比較し公表することによる意識づけ
	② 産業廃棄物の分別の徹底とリサイクル化、排出量の把握と削減意識の向上	未達要因である汚泥が取組困難	
	③ 一般廃棄物の分別の徹底とリサイクル化、排出量の把握と削減意識の向上	全社で徹底している	
水使用量の削減	① 節水意識の向上	全社で徹底し成果を出している	洗車手順の統一マニュアルの作成・遵守による節水
	② 洗車時の使用水量の削減（ストップノズルの装着）		
	③ 洗車時の使用水量の削減（洗剤使用量の抑制）		
化学物質の適正管理（数値目標非関連項目）	① 塗料・シンナーの使用量の削減を意識した塗装作業の実施	使用拠点内で徹底している	トルエン等の含有の少ない塗料への切替の推進
	② 塗料・シンナーの保管場所の整理整頓		
	③ 塗料の適正な発注と厳格な在庫管理		
	④ 塗料使用量の削減		
	⑤ 環境対応の塗料の採用		
環境配慮製品およびサービスの販売拡大	① マツダ社製のエコカー（SKYACTIV搭載の新車）の販売促進	半導体供給不足による新車販売不振の影響があった	環境性能の一層丁寧な説明と車点検入庫の促進を継続する
	② メンテナンスパック商品＜パックdeメンテ＞の販売促進	全社で徹底し成果を出している	
	③ エコ商品（オイル、タイヤ等）の販売促進	全社で徹底し成果を出している	
その他（数値目標非関連項目）	① 使用済み自動車の適正処理	全社に浸透している	油水分離槽の点検の徹底を継続する
	② 油水分離槽の適正管理		

9. 次年度以降の環境経営目標

■ 環境目標（年間）

	環境経営方針	目標項目	基準値		削減の場合 増加の場合	環境経営目標（基準値比）			
			基準年度	単位		99%	98%	97%	
						101%	102%	103%	
			2023年度	単位	目標区分	2024 年度	2025 年度	2026 年度	
二酸化炭素	CO ₂ 排出量の削減 (CO ₂ 排出源となるエネルギーの使用量)	電力使用量	1,133,650	kWh	Down	1,122,314	1,110,977	1,099,641	
		ガソリン使用量	150,721	ℓ	Down	149,214	147,707	146,199	
		軽油使用量	82,534	ℓ	Down	81,709	80,884	80,058	
		灯油使用量	29,059	ℓ	Down	28,769	28,478	28,188	
		都市ガス使用量	151	m ³	Down	149	148	146	
		LPガス使用量	1,877	m ³	Down	1,858	1,840	1,821	
	【参考】 CO ₂ 排出量の削減	電力由来	※1 ※2	542,355	kg-CO ₂	Down	515,212	510,008	504,803
		ガソリン由来		349,923	kg-CO ₂	Down	346,424	342,925	339,425
		軽油由来		216,598	kg-CO ₂	Down	214,432	212,266	210,100
		灯油由来		72,414	kg-CO ₂	Down	71,690	70,966	70,241
		都市ガス由来		318	kg-CO ₂	Down	315	312	309
		LPガス由来		11,664	kg-CO ₂	Down	11,548	11,431	11,314
		計		1,193,273	kg-CO ₂	Down	1,159,620	1,147,907	1,136,194
廃棄物	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	25,739	kg	Down	25,482	25,225	24,967	
		産業廃棄物	97,379	kg	Down	96,405	95,432	94,458	
水	水使用量の削減	水道水	7,955	m ³	Down	7,875	7,795	7,716	
化学物質	適正管理と取扱量の現状維持	トルエン、キシレン	1,201	kg	Keep	1,201	1,201	1,201	
商品	環境に配慮した商品の販売拡大	エコカーの販売台数	1,742	台	Up	1,759	1,777	1,794	
		メンテナンスパック商品の販売件数	7,977	件	Up	8,057	8,137	8,216	

※1. 購入電力のCO₂排出係数(調整後排出係数)・・・2024年度からの新3か年計画策定にあたり採用したもの
東北電力(株): 0.471 ENEOS Power(株): 0.459 (株)エネワンでんき: 0.414 (単位: kg-CO₂/kWh)

※2. 購入電力のCO₂排出係数(調整後排出係数)・・・2023年度実績算出にあたり採用した排出係数
東北電力(株): 0.521 ENEOS Power(株): 0.472 (株)エネワンでんき: 0.528 (株)新出光: 0.523 (単位: kg-CO₂/kWh)

9. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟の有無

11

1. 環境関連法規等

分類	No.	環境関連法規	法的要求事項	適用される施設/項目
温暖化防止	1	フロン排出抑制法	・ 空調機器の簡易定期点検または定期点検の実施 ・ 空調機器の点検・修理等に関する履歴の記録・保存	業務用エアコン
廃棄物・リサイクル	2	廃棄物処理法（※）	・ 廃棄物の適正な保管および処理、マニフェスト管理	産業廃棄物
			・ 水銀使用製品廃棄物の適正な保管および処理 ・ 水銀使用製品廃棄物の回収業者の取扱い許可の確認	水銀使用製品
	3	自動車リサイクル法（※）	・ 使用済自動車の適正処理	使用済自動車
	4	家電リサイクル法（※）	・ 廃棄家電の適正処理	家電
	5	新潟県産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例	・ 廃棄物の適正処理、適正保管、委託業者の処理能力の確認、排出量の届出	産業廃棄物
	6	新潟市産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例	・ 廃棄物の適正処理、適正保管、委託業者の処理能力の確認、排出量の届出	産業廃棄物
水質保全	7	水質汚濁防止法	・ 汚水流出時の応急措置と届出	自動洗車機
	8	下水道法	・ 特定施設の届出 ※自動式車両洗浄施設	自動洗車機
	9	浄化槽法	・ 法定点検の実施	浄化槽
生活環境	11	騒音規制法	・ 騒音に係る特定施設の届出 ※指定地域にある7.5kw以上のコンプレッサー	工場コンプレッサー
	12	振動規制法	・ 振動に係る特定施設の届出 ※指定地域にある7.5kw以上のコンプレッサー	工場コンプレッサー
	13	悪臭防止法	・ 規制地域における悪臭の規制基準の順守	事業活動全般
	14	新潟県生活環境の保全等に関する条例	・ 騒音に係る特定施設の届出 ※指定地域にある3.75kw以上のコンプレッサー	工場コンプレッサー
			・ 振動に係る特定施設の届出 ※指定地域にある3.75kw以上のコンプレッサー	工場コンプレッサー
	15	新潟市生活環境の保全等に関する条例	・ 騒音に係る指定施設の届出 ※指定地域にある3.75kw以上7.5kw未満のコンプレッサー	工場コンプレッサー
			・ 振動に係る指定施設の届出 ※指定地域にある3.75kw以上7.5kw未満のコンプレッサー	工場コンプレッサー
			・ 悪臭の規制基準の順守	塗装工場
	16	消防法	・ 消防設備の設置、危険物取扱 ・ 少量危険物貯蔵取扱の届出	少量危険物
	17	各市火災予防条例	・ 指定数量未満の危険物の適正な貯蔵及び取扱い	少量危険物
労働環境	18	労働安全衛生法	・ 作業主任者の選任 ・表示および作業環境測定 ・ 換気設備の設置および健康診断の受診	板金塗装工場
	19	労働安全衛生法	・ リスクアセスメントの実施	全工場

2. 違反・訴訟の有無

自主点検の結果、環境関連法規の違反や訴訟・苦情等は発生しませんでした。
また、関係当局からの違反等の指摘はありませんでした。

10. 代表者による全体の評価及び見直し

作成者	環境管理責任者 丸山 邦広
-----	---------------

見直し 関連 情報	項目	確認	評価・コメント
	1 エコアクション21文書	☒ 実施 ☐ 未実施	必要な文書類は作成済である。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	☒ 実施 ☐ 未実施	LED照明への切り替えが電力使用量の減少に繋がっていると思われる。
	3 環境経営計画及び取組実施状況	☒ 実施 ☐ 未実施	拠点での独自取組みを実施させるよう指導を始めた。
	4 環境関連法令一覧表及び遵守状況	☒ 実施 ☐ 未実施	環境関連法令を遵守している。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	☒ 実施 ☐ 未実施	外部からの環境に関する苦情・要望等の受付はなかった。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 実施 ☐ 未実施	ガソリン・給油のように販売または顧客サービス向上に影響するものについてのコントロールが課題である。
	7 取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	☐ 実施 ☒ 未実施	環境に関する特記すべき外部動向は認められなかった。
	8 代表者による前回指示事項への対応状況	☐ 実施 ☒ 未実施	事務局人員減により対応できなかった。
	9 前回審査の指摘事項への対応状況	☒ 実施 ☐ 未実施	指摘事項への対応を行った。
	10 その他	☐ 実施 ☒ 未実施	上記以外に特記すべき事項は認められなかった。

評価者	代表取締役社長 横田 和彦	実施日	2024年10月31日
-----	---------------	-----	-------------

全体評価・コメント（環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等）			
評価 夏の猛暑による電力使用量の増加が懸念されていたが、空調の適切な温度調整およびオンオフの管理により電力においても使用量の削減を達成できた。また不振が続く新車販売分野におけるエコカー販売増以外は目標を達成した。 環境法令の遵守とともに取組みの有効性を確認した。			
見直し指示			
	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1 環境経営方針	☐ 有 ☒ 無	
	2 環境経営目標	☐ 有 ☒ 無	
	3 環境経営計画・取組項目	☐ 有 ☒ 無	
	4 実施体制	☐ 有 ☒ 無	
	5 その他のシステム要素	☐ 有 ☒ 無	
	6 その他（外部への対応）	☐ 有 ☒ 無	